

厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計の概況（2025年12月23日）

厚生労働省は令和6年（2024年）医師・歯科医師・薬剤師統計の概況を公表しました。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/index.html>

国内の医師数34.8万人で過去最多となり、診療所の医師数が増加しました。都道府県別では（人口10万人当たり）徳島県が最多で345.4人、最少は埼玉県で189.1人でした。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/dl/R06_1gaikyo.pdf

[医師の概要（増減はすべて2022年との比較）]

=人数=

- ・全国の届出「医師数」は34万7,772人
- ・「男性」は26万2,801人（75.6%）、「女性」は8万4,971人（24.4%）
- ・令和4（2022）年との比較で4,497人（1.3%）増
- ・人口10万人当たりの医師数は280.9人で、6.2人増

=施設・業務=

- ・「医療施設の従事者」は33万1,092人（95.2%）で、3,648人（1.1%）増加した
- ・「医療施設の従事者」のうち「診療所」に勤務する医師が11万1,699人で4.1%増したのに対し「病院勤務者」は21万9,393人で0.3%減となった。
- ・「介護老人保健施設の従事者」は3,337人（1.0%）で、1.2%増
- ・「医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者」は9,403人で2.4%増
- ・「医療施設・介護老人保健施設・介護医療院以外の従事者」のうち「産業医」が19.0%増加したのに対し、行政機関の従事者は1.5%減となった。

=診療科（複数回答）別=

- ・「内科」が94,632人（28.6%）と最も多く、次いで「消化器内科（胃腸内科）」が29,511人（8.9%）、「小児科」26,569人（8.0%）となった。
- ・診療科を施設の種別にみると
病院：「内科」（17.8%）、「整形外科」（7.0%）、「消化器内科（胃腸内科）」（6.7%）
診療所：「内科」（49.7%）、「小児科」（13.3%）、「消化器内科（胃腸内科）」（13.2%）の順であった。

=都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数=

- ・医療施設に従事する人口10万対医師数は267.4で、5.3増加した。
- ・都道府県別の最多は徳島県345.4で、次いで長崎県333.8、京都府333.2であった
- ・最少は埼玉県189.1で、次いで茨城県198.1、千葉県213.3であった
- ・診療科別では、主たる診療科が「小児科」の医師数（15歳未満人口10万対）は、鳥取県が187.3と最も多く、千葉県が101.5と最も少ない。
- ・主たる診療科が「産婦人科・産科」の医師数（15～49歳女性人口10万対）は、福井県が66.4と最も多く、埼玉県が35.1と最も少ない。